

公募から事前評価まで 評価って何から始まり、評価って役立つね

甲信地域支援と地域資源連携事業（2020年度 草の根）
こども若者が自ら課題解決する力を持てる地域づくり事業

資金分配団体
甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム
認定NPO法人富士山クラブ
（公財）長野県みらい基金

実行団体
NPO法人 河原部社
NPO法人 スペースふう
NPO法人 bond place
NPO法人 こどもの未来をかんがえる会
（一社） 信州上田里山文化推進協会

認定NPO法人 富士山クラブ 青木直子

実行団体公募説明会 2021年2月上旬 オンライン (2回)

- ・ 資金分配団体PO
事業の評価概要
- ・ 評価アドバイザー
 - 休眠預金事業での評価とは？
「誰」が、「どのタイミング」に、「何」を、「目的」に評価するのか
 - 社会的インパクト評価とは？
 - 事業開始前から評価の話？
 - 事業計画書 書き方、考え方のコツ

実行団体採択 評価研修 2021年3月下旬 オンライン 全体/個別

- ・ 評価アドバイザー / PO
 - 社会的インパクト評価及び事前評価
 - 事業計画及び評価計画 申請時から資金提供契約に向けてブラッシュアップ
 - 個別ワーク

※研修後 POとブラッシュアップ、評価アドバイザーからフィードバック

実行団体資金提供契約 2021年4月 事業計画書、資金計画書、評価計画書

事前評価（5月～7月）

- ・ 実行団体 （山梨県3団体 長野県2団体）

山梨県 3 団体 NPO

走りながら考える

アウトカムよりアウトプット

行政からの業務委託事業 （仕様書通り）

1）実績のある分野での活動

河原部社、bond place

2）実績・強みを生かして新しい分野での活動

スペースふう

実行団体からのつぶやき

早く活動始めたいのに...

アウトプット、アウトカム、指標、ロジックモデル？

評価指針 何度読んでも難しい...

報告書様式 埋めなくちゃいけない

文献調査、インタビュー、ヒアリング、分析 時間がかかる

自己評価ってどうすればいいの？

（終わったところに） 事前評価ハンドブック！

実行団体の事例から NPO法人スペースふう

環境分野 リユース食器レンタルで（プラスチック）ごみ削減
全国にリユース食器を広めたパイオニアの市民団体
環境からのアプローチで地域づくりにも関わる

事務局体制

理事長 （元町議会議長 元議員）

副理事長（元町議会議員）

事務局長（子育てママ）

パートタイムスタッフ、ボランティア

強みを生かして SDG視点で環境+福祉分野へ

休眠預金事業

（リユース食器お弁当（箱）を介して、）産後ママや子育て家庭が、人とのつながりを通じて安心して子育てできる地域社会を実現する。地域のネットワークを活かし、社会的なつながりが少ない若者や女性らが働きやすい地域社会を実現する。（中長期アウトカム）

事前評価にとりかかる 実行団体の事例から

大変そう？ どんな目的や意味があるの？ 自己評価ってどうすればいいの？
文献は何？ ヒアリングは誰？

事業計画書・評価計画書をもう一度読み込んで確認、指標を再検討
調査、ヒアリングが面白い、深くなる、とっ散らかる



あっちも、こっちも迷走、混乱



事業計画書

インプット、アウトプット、アウトカム、ロジックモデル
ステークホルダーマップ



文字でなくて、イラストや絵で表現
付箋で思いつくまま書く
なんでも書き出してみる

目標や活動内容がより明確に、体制も事業の本格始動の前に見えた
課題、現状、要因、ターゲット、働きかけ方法、モニタリング...

自分たちが何をする 受益者や地域がどうなる

実行団体の事例から NPO法人スペースふう

短期アウトカム (申請時)

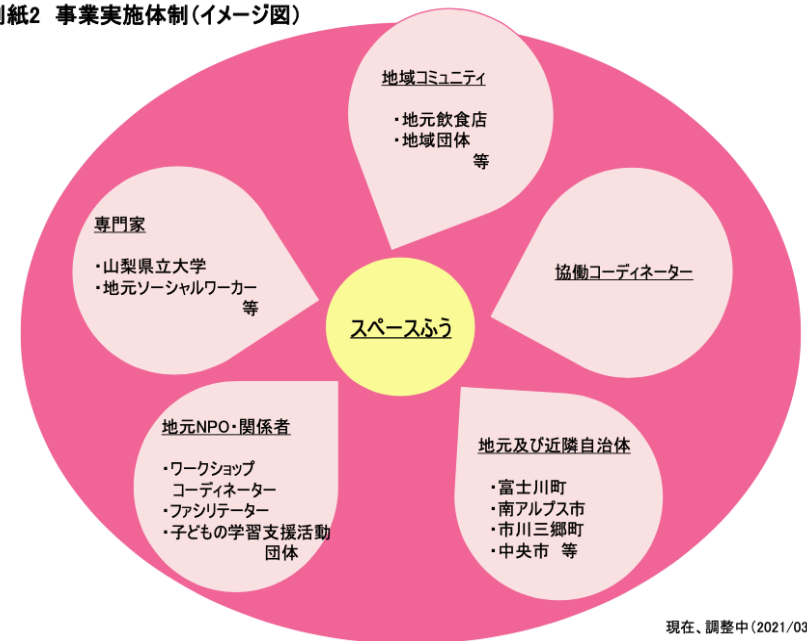
- ①虐待が起きてしまう前に、自分の現状が問題だと認識できる
- ②SOSを出してもいいんだという自己受容
- ③社会の役に立っている仕事にやりがいを感じる

別紙1 リュースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業

サンショク (食と職と触(ふれあい)) 地域循環モデル事業



別紙2 事業実施体制(イメージ図)



実行団体の事例から NPO法人スペースふう

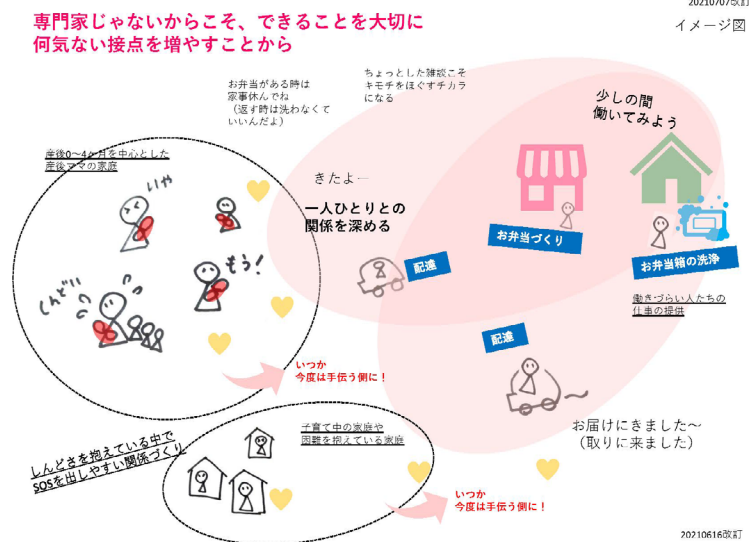
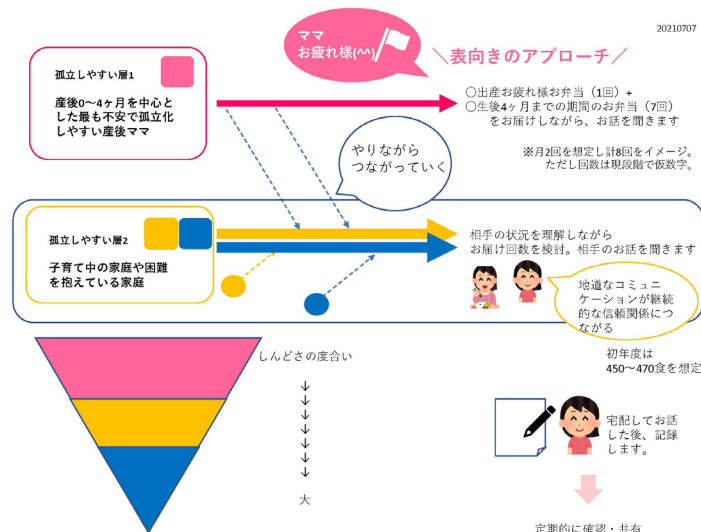
短期アウトカム

【事前評価前】

- ①対象者が虐待が起きてしまう前に、自分の現状が問題だと認識できている
- ②対象者がSOSを出してもいいんだという自己受容が得られている
- ③対象者が社会の役に立っている仕事にやりがいを感じている
- ④地域には、支援できるネットワークができ、包括的に協力体制ができあがる

【事前評価後】

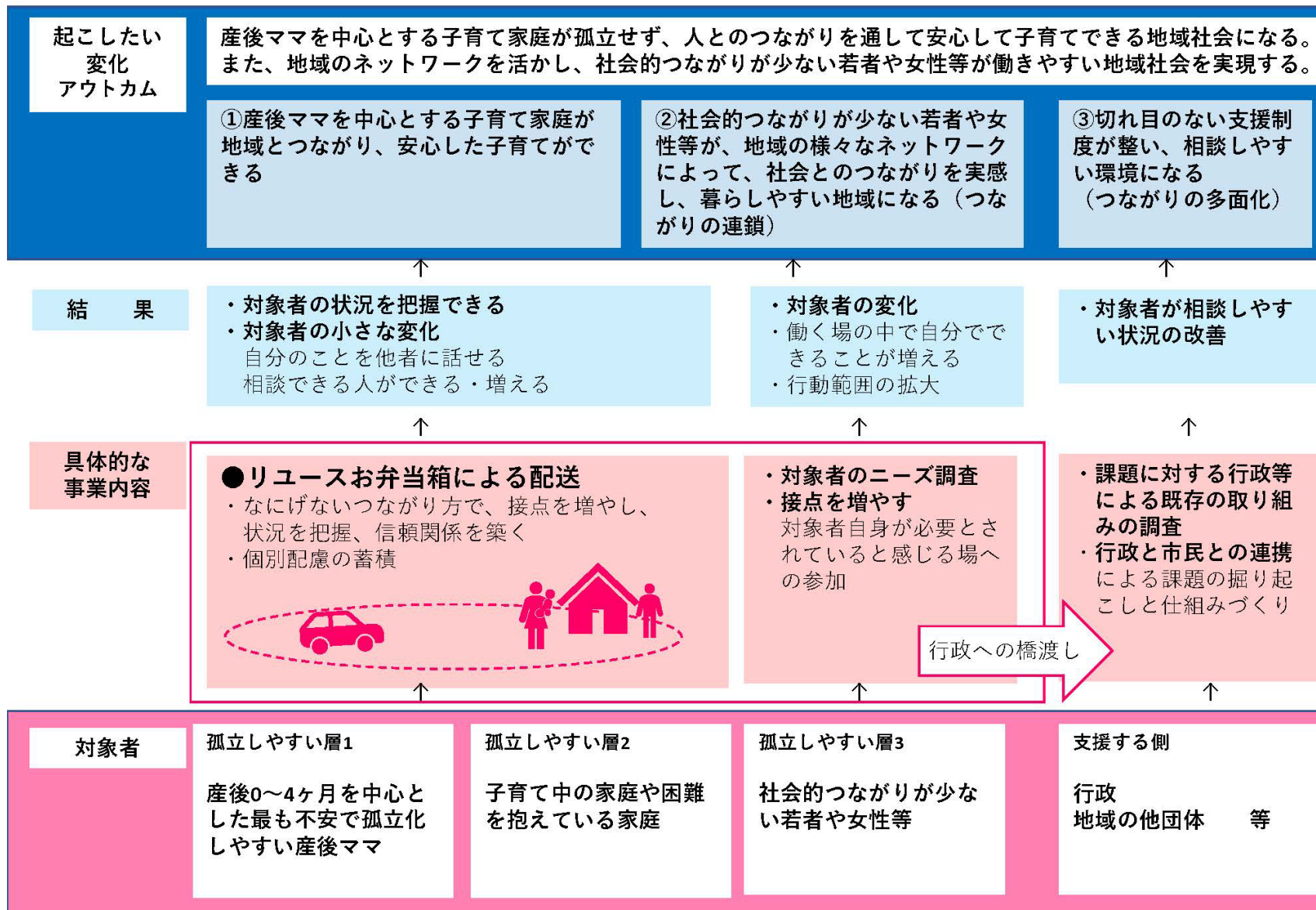
- ①産後ママを中心とする子育て家庭が地域とつながり、安心した子育てができる
- ②社会的つながりが少ない若者や女性等が、地域の様々な人たちのネットワークによって、社会とのつながりを実感し、暮らしやすい地域になる（つながりの連鎖）
- ③切れ目のない支援制度が整い、相談しやすい環境になる（つながりの多面化）



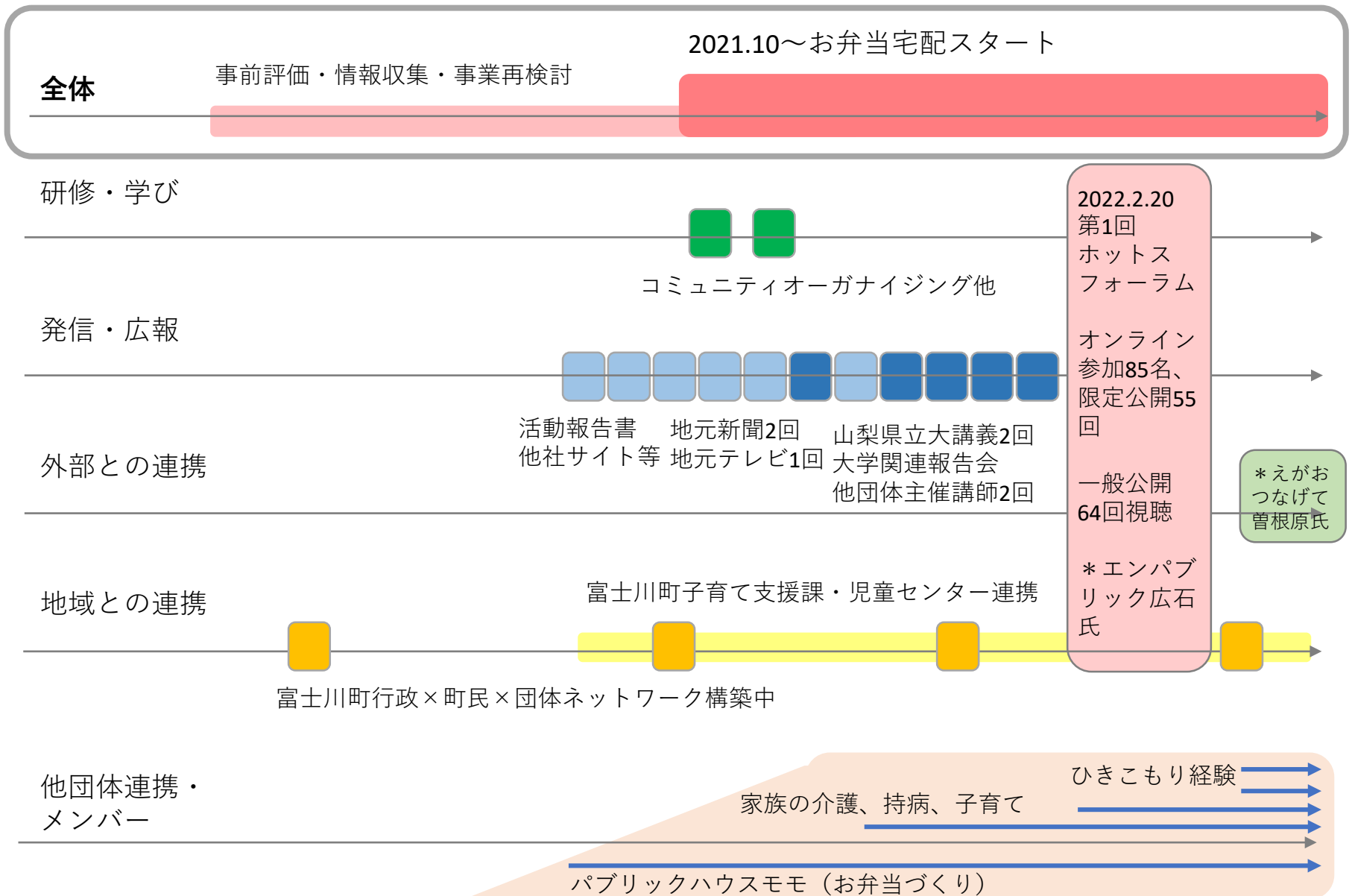
実行団体の事例から NPO法人スペースふう

リユースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業のロジックモデル（事前評価による変更版）

20210617改訂



事前評価 → 活動 (2021年5月～2022年3月)



実行団体の言葉 評価は大変で、まだまだ時間がかかってしまうけど...

- ・表面的な課題、根っこにある課題、何を実現したいのかが見えた
- ・ロジックモデル、ToC、ときに振り返り、考えると道筋がぶれない
- ・アウトカムをいつも意識して、事業改善への微調整
- ・事業だけでなく、運営体制や組織基盤を考えるのに役立っている
- ・自信と確信をもって事業に取り組んでいる
- ・事業を支援者や協力者にわかりやすく説明できる
- ・今後、休眠事業以外の事業でも、評価の考え方、方法が役立つかも。
- ・評価をもっと勉強してみたい